

(4) 実習生の受け入れ

(単位 人数=人 日数=日)

事業所名	種別	実人数	延べ日数
世田谷 ホームヘルプ サービス	介護福祉士	0	0
	介護職員初任者研修	2	2
烏 山 ホームヘルプ サービス	介護福祉士	0	0
	介護職員初任者研修	0	0
合 計		2	2

※介護職員初任者研修の実習は任意課程

5 通所介護事業〈デイ・ホーム〉

1 令和3年度の取り組み

(1) 利用率などの目標管理の徹底と経費削減などによる収支の改善

運営の効率化を図るため、6月からデイ・ホーム世田谷をデイ・ホーム太子堂のサテライト事業所として運営を開始した。しかし、コロナ禍も重なり、利用が伸び悩んだため、送迎車両の運行委託を見直すなど支出の削減に努めた。

利用率向上に向け目標に対する課題を確認するとともに、営業先リストにもとづいた営業活動や利用者の担当ケアマネジャーとの日常的な連携を進めるなどの対策に取り組んだが、コロナ禍による利用控えなどから大幅な収支改善にはつながらなかった。

(2) 認知症対応型を中心とした認知症ケアと認知症介護者の人材育成

東京都認知症介護実践者研修や日本版BPSDケアプログラムのアドミニストレーター養成研修への出席、各事業所における認知症利用者のケース検討により、職員が認知症ケアを実践するために必要な知識及び技術を向上することができた。

(3) 利用者のニーズに即した個別機能訓練の実施

言語聴覚士による失語症のある利用者への集団訓練やマシントレーニングなど、利用者ニーズに即した個別機能訓練を実施し、利用者の手段的日常生活機能の維持・向上を図った。

(4) 事業規模の適正化及び ICT 化に伴う業務の効率化

①デイ・ホーム世田谷をデイ・ホーム太子堂のサテライト事業所とすることにより、職員体制の見直しや事業運営の効率化を図り、人件費などの削減に努めた。

②送迎ルート、勤務表作成などの事務作業のICT化にむけ各種情報を収集し、今後の導入に向け、引き続き検討を行うこととした。

(5) 医療的ケアが必要な要介護高齢者へのサービスの継続と人材育成

①令和2年度に引き続き、医療的ケア(喀痰吸引、経管栄養など)が必要な要介護高齢者の積極的な受け入れを行った。個別の状態に合わせた適切なケアを提供するために、看護師を中心にOJTによる人材の育成を行った。

②介護職員による喀痰吸引3号研修は実施対象者がいないことや、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響もあり実施に至らなかった。しかし、褥瘡などの処置が必要な利用者を対象に、医療(主治医・訪問看護)やケアマネジャー、訪問入浴事業者、家族と連携し、入浴サービスなどの必要なケアを提供した。

(6) 新型コロナウイルス感染症等の感染予防対策の徹底

利用者やご家族が安心して通所できるよう、換気、消毒、パーテーションの設置などの基本的な予防策をはじめ、世田谷区からの抗原定性検査キットを活用し、感染拡大防止に努めた。

(7) 事業目標に対する取り組み

デイ・ホーム 太子堂 (世田谷)	「楽しいデイサービス」となるよう、感染予防対策を確実にしながら、利用者の声を反映した音楽プログラムの充実やデイ・ホーム太子堂の裏庭を活用した園芸プログラム、太子堂・世田谷の交流会など新たなプログラムを行った。また、利用者の状況・状態に合わせ、家族支援を含めた個別ケアを丁寧に行い、信頼関係の構築に努めた。また、デイ・ホーム世田谷における失語症の方を対象とした「ことばの教室」を広く周知するために、オンライン研修を実施し新規利用者の獲得に努めた。
デイ・ホーム 弦 巻	胃ろうや吸引、感染症対応など医療的な処置が必要な方や常時見守りが必要な重度の認知症の方の受け入れを積極的に行った。支援に際しては、ケアマネジャーをはじめ、家族とも電話や連絡帳、送迎時を活用して密に連携を図り、利用者の支援の充実や家族の負担軽減に努めた。
デイ・ホーム 松 原	フラワーアレンジメントや調理教室、各種季節行事など、多彩な活動を提供し、心身機能の維持、在宅生活の充実につながるよう支援した。また、様々な症状の利用者を受け入れ、症状に合わせた支援を提供し、安心して過ごせるよう取り組んだ。
デイ・ホーム 芦 花	様々な認知症周辺症状を呈す利用者の積極的な受け入れと、認知症マニュアルなどを活用し職員研修などを実施した。また、理学療法士などの専門職が歩行訓練や立位訓練などを実施し、在宅生活が継続できるよう支援した。
デイ・ホーム 上北沢	在宅生活の継続のために、利用者ごとに必要となる社会参加や身体機能の維持に焦点を当て、課題を抽出し、対応策を検討した。自身での保清が困難な方への支援方法や、家族不在の送り時に認知症の方が安心して自宅で過ごせるようにするための対応方法など、検討課題を職員間で共有し、利用者及び利用者家族への支援に活かした。

2 実績

(1) 利用状況

① 一般型通所介護

ア 延べ利用者数

(単位=人 達成率=%)

	計 画	実 績	達成率
デイ・ホーム太子堂	5,580	3,377	60.5
デイ・ホーム世田谷(太子堂分室)	4,185	2,776	66.3
デイ・ホーム弦 巻	5,580	4,990	89.4
デイ・ホーム松 原	6,417	5,992	93.4
デイ・ホーム芦 花	8,370	7,068	84.4
デイ・ホーム上北沢	8,370	6,829	81.6
合 計	38,502	31,032	80.6

※サービス提供日数 世田谷・松原=310日、太子堂=258日、弦巻=309日、芦花=307日、上北沢=297日

イ 1日平均利用者数 (()内=1日平均利用率) (単位=人 達成率=%)

	定員	計画	実績	達成率
デイ・ホーム太子堂	20	18.0 (90.0)	13.1 (65.5)	72.8
デイ・ホーム世田谷 (太子堂分室)	15	13.5 (90.0)	8.9 (59.3)	65.9
デイ・ホーム弦巻	20	18.0 (90.0)	16.1 (80.5)	89.4
デイ・ホーム松原	23	20.7 (90.0)	19.3 (83.9)	93.2
デイ・ホーム芦花	30	27.0 (90.0)	22.8 (76.0)	84.4
デイ・ホーム上北沢	30	27.0 (90.0)	22.5 (75.0)	83.3
合計	138	124.2 (90.0)	102.7 (74.4)	82.7

② 認知症対応型通所介護

ア 延べ利用者数 (単位=人 達成率=%)

	計画	実績	達成率
デイ・ホーム弦巻	2,604	1,540	59.1
デイ・ホーム芦花	2,232	2,042	91.5
合計	4,836	3,582	74.1

※サービス提供日数 弦巻=309日、芦花=307日

イ 1日平均利用者数 (()内1日平均利用率) (単位=人 達成率=%)

	定員	計画	実績	達成率
デイ・ホーム弦巻	12	8.4 (70.0)	5.0 (42.5)	59.5
デイ・ホーム芦花	12	7.2 (60.0)	6.6 (55.0)	91.7
合計	24	15.6 (65.0)	11.6 (48.3)	74.4

③ 要介護度別利用者数 (3月実利用者状況) (単位=人)

	要介護					合計
	1	2	3	4	5	
デイ・ホーム太子堂	6	10	7	2	3	28
デイ・ホーム世田谷 (太子堂分室)	9	14	14	1	2	40
デイ・ホーム弦巻	12	12	13	13	5	55
デイ・ホーム松原	16	6	14	6	4	46
デイ・ホーム芦花	16	23	18	10	18	85
デイ・ホーム上北沢	15	26	19	11	5	76
合計	74	91	85	43	37	330

総合事業（3月実利用者状況）

（単位＝人）

	要支援			合計
	1 (週1回程度)	2 (週1回程度)	2 (週2回程度)	
デイ・ホーム太子堂	3	0	2	5
デイ・ホーム弦 巻	1	1	2	4
デイ・ホーム松 原	3	0	2	5
デイ・ホーム芦 花	4	1	2	7
デイ・ホーム上北沢	0	1	0	1
合 計	11	3	8	22

④ 利用者性別・年齢別人数（3月実利用者状況）

（単位＝人）

		64歳 以下	65～ 74歳	75～ 84歳	85～ 99歳	100歳 以上	合計	平均 年齢
デイ・ホーム 太子堂	男	0	1	6	6	0	13	82.4
	女	0	1	7	24	0	32	87.5
	計	0	2	13	30	0	45	86.2
デイ・ホーム 世田谷 (太子堂分室)	男	0	7	4	1	0	12	78.7
	女	0	1	5	10	0	16	85.2
	計	0	8	9	11	0	28	82.7
デイ・ホーム 弦 巻	男	0	1	6	10	0	17	86.3
	女	1	3	10	27	1	42	87.6
	計	1	4	16	37	1	59	87.2
デイ・ホーム 松 原	男	0	0	3	6	0	9	86.2
	女	0	2	13	27	0	42	87.2
	計	0	2	16	33	0	51	87.1
デイ・ホーム 芦 花	男	0	2	11	18	0	31	85.1
	女	0	2	14	43	2	61	87.3
	計	0	4	25	61	2	92	86.2
デイ・ホーム 上北沢	男	0	0	7	7	0	14	88.7
	女	0	2	8	52	1	63	87.5
	計	0	2	15	59	1	77	88.6
合 計	男	0	11	37	48	0	96	85.6
	女	1	11	57	183	4	256	87.4
	計	1	22	94	231	4	352	86.9

(2) 介護保険制度加算事業の実施

① 加算事業【要介護者】

延べ利用件数

(単位：件)

	個別機能訓練	口腔機能向上	合計
デイ・ホーム太子堂	0	272	272
デイ・ホーム世田谷 (太子堂分室)	84	312	396
デイ・ホーム弦 巻	0	420	420
デイ・ホーム松 原	0	455	455
デイ・ホーム芦 花	157	937	1,094
デイ・ホーム上北沢	0	738	738
合 計	223	3,134	3,375

② 予防加算事業【要支援者】

延べ利用件数

(単位：件)

	運動機能向上	口腔機能向上	合計
デイ・ホーム太子堂	0	24	24
デイ・ホーム世田谷 (太子堂分室)	18	4	22
デイ・ホーム弦 巻	0	0	0
デイ・ホーム松 原	0	0	0
デイ・ホーム芦 花	84	0	84
デイ・ホーム上北沢	0	0	0
合 計	102	28	130

(3) 入浴サービス

延べ利用件数

(単位：計画・実績＝人 達成率＝%)

	計画	実績	達成率
デイ・ホーム世田谷	1,400	916	65.4
デイ・ホーム太子堂	1,860	1,124	60.4
デイ・ホーム弦 巻	3,720	3,000	80.6
デイ・ホーム松 原	1,240	823	66.3
デイ・ホーム芦 花	3,720	3,092	83.1
デイ・ホーム上北沢	2,000	2,039	102.0
合 計	13,940	10,994	78.9

(4) 失語症コース（ことばの教室）

延べ利用者数

(単位＝人)

デイ・ホーム世田谷	666
-----------	-----

(5) デイ・ホーム世田谷地下会議室貸出

延べ貸出回数

(単位=回)

会議室 1	628
会議室 2	286

(6) 実習生の受け入れ

(単位=人)

	種別	実人数	延べ日数
デイ・ホーム太子堂 (世田谷)	社会福祉士	2	10
	介護職員初任者研修等	0	0
	介護等体験	48	240
	合 計	50	250
デイ・ホーム弦 巻	社会福祉士	2	10
	介護職員初任者研修等	0	0
	介護等体験	50	250
	合 計	52	260
デイ・ホーム松 原	社会福祉士	2	10
	介護職員初任者研修等	0	0
	介護等体験	0	0
	合 計	2	10
デイ・ホーム芦 花	社会福祉士	0	0
	介護職員初任者研修等	0	0
	介護等体験	0	0
	合 計	0	0
デイ・ホーム上北沢	社会福祉士	0	0
	介護職員初任者研修等	0	0
	介護等体験	0	0
	合 計	0	0
合 計		104	520

(7) ボランティア受け入れ (延べ人数)

(単位=人)

デイ・ホーム太子堂	118
デイ・ホーム弦 巻	115
デイ・ホーム松 原	221
デイ・ホーム芦 花	0
デイ・ホーム上北沢	0
合 計	454

6 訪問看護事業<訪問看護ステーション>

1 令和3年度の取り組み

(1) 質の高い訪問看護・リハビリテーションの提供

Webを活用した研修6回と事例検討会5回、リハビリ職の研修会1回を実施した。個人目標に沿った研修参加も進め、各事業所での月数回の定期ミーティングでは、伝達研修を行い研鑽に努めた。また、同行訪問や事例の相談などのOJTを継続し、看護の質の確保に取り組んだ。

また、「訪問看護ステーションにおける事業所自己評価のガイドライン^{*}」に沿って事業所の運営についての評価を行うことで、職員がより良い事業所について考える機会となっている。

※全国訪問看護事業協会で訪問看護事業所の質の向上を図ることを目的に作成されたガイドライン

(2) 安定した経営の確立

①職員の欠員や新型コロナウイルス感染症の影響で職員の出勤停止が続く状況であったが、訪問時間や日にちを調整することでサービスの継続に努めた結果、訪問回数の目標達成率は106.3%と目標回数を上回ることができた。

②感染防止対策を徹底した業務管理を行い、感染者が出た場合も感染拡大を防ぐことができた。新型コロナウイルス感染症感染者の訪問対応マニュアルを作成し、感染者への訪問も安全に実施し、状況の変化に応じた安定したサービス提供に努めた。

(3) 利用者へのチーム支援の強化

「最後まで食べる」をテーマに管理栄養士や言語聴覚士、歯科衛生士を中心に結成された専門職研究チーム「もぐもぐ研究会」を3回開催した。栄養や嚥下に関する知識や事例を共有し、口から食べる支援の質の向上に取り組んだ。その取り組みを訪問看護ステーションの事例報告会で発表することで、研究チーム以外の職員も新たな知識を得ることができた。

看護師や理学療法士などから管理栄養士への相談は135件、管理栄養士の同行訪問76回を行い、利用者が豊かな食生活を送るために個別ケースに関してもサポートを継続した。

(4) 地域の拠点ステーションとしての役割強化

①健康増進や重度化防止を目的とした健康測定と相談や講座「どこでも保健室」をあんしんすこやかセンターと協力して、感染防止対策を徹底し6回実施し、地域住民の健康への関心を高めることができた。また、事業団YouTubeに理学療法士の「筋力強化運動」「ストレッチ」の動画を投稿し、フレイル予防に寄与した。

②専門の研修を受けた看護師（緩和ケア・精神科認定看護師）が事業団内外で看護師・福祉職向けの研修講師を8回、コンサルテーション（電話相談含む）を5回行い、地域の看護や福祉の質の向上に寄与した。

③東京都訪問看護教育ステーション事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、訪問看護体験研修6人の受け入れ、3回の訪問看護定例研修会の公開を行い、他区を含めた地域の看護師の育成に貢献した。

(5) 事業目標に対する取り組み

<p>訪問看護ステーション けやき 【難病・小児看護】</p>	<p>＜難病＞在宅難病患者訪問看護師養成研修などに出席した職員が伝達研修を行い、最新の情報と技術の習得に努め、ケースの対応に取り組んだ。</p> <p>＜小児＞小児看護のスキル向上のため、小児看護リハビリの勉強会を実施した。また、職員が外部講師を務め地域に貢献した。在宅レスパイト事業は柔軟に実施し、小児が安心して在宅で生活できる支援を継続した。</p> <p>○丁寧な看護の実践を心掛けた。新型コロナウイルス感染症における感染予防対策の検討や演習を含めた研修の実施はチーム力向上に繋がった。</p>
<p>訪問看護ステーションけやき分室 訪問看護ステーション さぎそう 【終末期看護】</p>	<p>○死亡により訪問を終了したケースに対し、ターミナルケア総括記録を用いて、個々でのケースの振り返りを継続し、カンファレンスで事例を共有した。グリーフケア訪問は新型コロナウイルス感染症拡大のためできる範囲で実施し、死去1年後のお悔やみの手紙の送付を継続した。</p> <p>○看護技術の勉強会を行うことで技術の見直しやスキルアップ向上に繋がり、安全なケアを提供できた。</p>
<p>訪問看護ステーション 北沢 【老年期看護】</p>	<p>○老年期の特徴を理解し、看護の質の向上に繋げることを目標に取り組んだ。ACP^{*1}をテーマに勉強会を開催し、医師より講義を受け、意見交換を行うことによりさらに理解が深まり、より質の高い看護実践に繋げることができた。</p>
<p>訪問看護ステーション 芦花 【精神科看護】</p>	<p>○精神科認定看護師を中心に少数グループでケースカンファレンス、スタッフのメンタルヘルスについて4回実施した。情報共有とスタッフの精神面での共有を図り、看護実践に繋げることができた。</p> <p>○区民講座での精神科訪問看護の講習や健康体操の指導を行った。また、域ケア会議の研修に出席し地域連携を図った。</p>
<p>訪問看護ステーション 三軒茶屋 【認知症看護】</p>	<p>○日本版 BPSD ケアプログラムによる事例検討は2事例実施した。評価に基づきケアマネジャーと連携しケアプランに生かすことができた。</p> <p>○オンライン研修に積極的に出席（17研修延べ24人）し、伝達することで理解を深め看護実践に活かすことができた。</p>

※1 将来の医療及びケアについて、本人を主体に家族や医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援するプロセス

2 実績

(1) 利用者状況（介護保険・医療保険）

① 延べ訪問回数（単位 計画数、実績＝回 達成率＝％）

	計画数	実績	達成率
訪問看護ステーションけやき	15,070	16,568	109.9
訪問看護ステーションさぎそう	7,510	7,724	102.8
訪問看護ステーション北沢	13,000	12,933	99.5
訪問看護ステーション芦花	13,700	15,419	112.5
訪問看護ステーション三軒茶屋	13,560	14,171	104.5
合 計	62,840	66,815	106.3

② 要介護度別利用者数（3月実利用者状況・介護保険）（単位＝人）

	要支援		要介護						合計
	1	2	1	2	3	4	5	暫定	
訪問看護ステーション けやき	10	16	15	28	19	15	14	1	118
訪問看護ステーション さぎそう	5	2	11	7	8	12	11	1	57
訪問看護ステーション 北 沢	2	6	25	27	26	14	16	2	118
訪問看護ステーション 芦 花	6	11	25	22	14	11	13	1	103
訪問看護ステーション 三軒茶屋	7	19	27	31	27	18	10	1	140
合 計	30	54	103	115	94	70	64	6	536

③ 利用者年齢別人数（3月実利用者状況）（単位＝人）

		0～	20～	40～	65～	75～	85～	100歳	合計
		19歳	39歳	64歳	74歳	84歳	99歳	以上	
訪問看護ステーション けやき	介護保険	0	0	3	18	35	61	1	118
	医療保険	15	9	24	17	11	2	0	78
訪問看護ステーション さぎそう	介護保険	0	0	1	7	10	39	0	57
	医療保険	6	3	30	8	6	2	0	55
訪問看護ステーション 北 沢	介護保険	0	0	5	6	28	76	3	118
	医療保険	6	7	29	11	12	1	0	66
訪問看護ステーション 芦 花	介護保険	0	0	2	13	34	51	3	103
	医療保険	5	15	38	28	11	5	0	102
訪問看護ステーション 三軒茶屋	介護保険	0	0	2	10	56	70	2	140
	医療保険	3	4	12	9	5	2	0	35
合 計	介護保険	0	0	13	54	163	297	9	536
	医療保険	35	38	133	73	45	12	0	336

④ 疾病別利用者数（3月実利用者状況）

（単位＝人）

事業所	訪問看護 ステーション けやき	訪問看護 ステーション さぎそう	訪問看護 ステーション 北 沢	訪問看護 ステーション 芦 花	訪問看護 ステーション 三軒茶屋	総計
脳血管疾患	21	4	16	15	17	73
循環器疾患	16	18	24	14	32	104
消化器疾患	4	2	2	1	1	10
癌	9	9	8	7	11	44
整形外科疾患	31	10	17	16	15	89
呼吸器疾患	9	3	5	6	9	32
腎・泌尿器疾患	3	2	2	5	6	18
血液・造血器疾患	1	0	1	2	0	4
内分泌疾患	6	6	11	11	12	46
認知症	15	4	23	19	19	80
老衰	0	0	0	0	0	0
難病など	19	13	21	22	23	98
精神疾患	45	34	34	68	14	195
皮膚疾患	0	0	1	6	1	8
アレルギー疾患	1	1	0	1	1	4
脳神経疾患	8	3	9	4	4	28
その他	8	3	10	8	10	39
合 計	196	112	184	205	175	872

(2) 介護保険制度・医療保険制度加算件数（3月実利用者状況）

（単位＝件）

加算内容	訪問看護 ステーション けやき	訪問看護 ステーション さぎそう	訪問看護 ステーション 北 沢	訪問看護 ステーション 芦 花	訪問看護 ステーション 三軒茶屋	総計
緊急時訪問看護加算	54	20	52	36	55	217
特別管理加算Ⅰ	12	2	11	2	9	36
特別管理加算Ⅱ	8	9	10	9	11	47
ターミナル加算	0	0	0	0	0	0
24時間連絡対応加算	46	27	50	60	21	204
特別管理加算Ⅰ	21	9	3	11	7	51
特別管理加算Ⅱ	3	1	14	0	1	19
情報提供療養費	20	12	8	25	3	68
ターミナルケア療養	1	1	2	0	0	4

24時間体制における夜間・早朝・土日祝日の緊急対応・相談件数（単位＝件）

訪問看護ステーションけやき	428
訪問看護ステーションさぎそう	369
訪問看護ステーション北沢	626
訪問看護ステーション芦花	724
訪問看護ステーション三軒茶屋	252
合 計	2,399

(3) 受託事業実施状況

① 重症心身障害児(者)在宅レスパイト事業（単位＝回）

2時間滞在	2.5時間滞在	3時間滞在	3.5時間滞在	4時間滞在	合計
87	5	8	12	84	196

② 専門職訪問指導事業（単位＝回）

職種	実績
看護師	6
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	85
管理栄養士	33

(4) 実習生の受け入れ

（単位 人数＝人 日数＝日）

種 別	実人数	延べ日数
看護大学	34	143
現任看護師（保育園・精神科看護認定看護師 ・東京都ナースプラザ）	0	0
インターンシップ	0	0
世田谷区医師会研修医	0	0
玉川医師会研修医	0	0
退院支援強化研修	1	1
医学生	0	0
訪問看護ステーション協会	0	0
東京都訪問看護教育ステーション事業	6	10.5
合 計	41	154.5

7 地域包括支援センター事業〈あんしんすこやかセンター〉

※世田谷区からの運営受託事業

1 令和3年度の取り組み

(1) 地域で支え合うネットワークづくりや地域包括ケアシステムの推進

まちづくりセンター、社会福祉協議会との三者連携や児童館、障害者相談支援センターなどを加えた四者連携を基本に、6事業所がそれぞれの地域がもつ特性に合わせたネットワークづくりに取り組んだ。

日頃から顔のみえる関係を築き、連携を密にしている民生委員児童委員や町会、商店街など、地域からの情報提供があった際には迅速に対応しながら、関係強化に努めた。

また、様々な事業に取り組みながら、新たな社会資源とのネットワークづくりを進め、地域包括ケアシステムの一員として役割を果たした。

(2) 自立に向けた適切なケアマネジメントの実施

介護予防ケアマネジメントにおいては、支援を必要とする方に対し、本人の強みに着目し、自立支援を目指した本人主体のケアマネジメントを実践した。

世田谷区主催や法人内での研修への参加、ミーティングでの個別ケースの検討により、ケアマネジメントの質の向上に取り組んだ。また、円滑に業務が遂行できるよう介護保険法の改正点を盛り込み「介護予防支援業務マニュアル」の見直しを行った。

(3) 在宅医療・介護連携の推進

在宅療養相談窓口として区民、介護保険サービス事業者などの相談を受け、医療機関情報の提供などの支援を行った。「医療と介護の連携シート」などの情報共有ツールの活用をすすめ、医師や主任ケアマネジャーなどと協働して地区連携医事業に取り組むなどして、医療と介護連携の強化を図った。

(4) 新型コロナウイルス感染症などの感染予防対策の徹底

令和2年度より蓄積した感染予防のノウハウを活かすとともに、事業団独自の「あんしんすこやかセンター感染対策マニュアル」に最新の情報を盛り込んだ。マニュアルをもとに事業団内研修を実施し、感染予防対策の理解を深めた。

また、地域の方に安心して相談に出向いてもらえるよう、世田谷区におけるスクリーニング検査を積極的に行った。

(5) 事業所目標に対する取り組み

太子堂 あんしんすこやかセンター	新たにふれあい広場で青空カフェをスタートし、「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」の普及のための懇話会やスマホ相談、介護者の会など地域住民の声や力で活動を展開した。青空ラジオ体操には三者が連携して取り組み、多様な世代が参加し、健康づくりやつながりの場となった。医療、介護、福祉機関などとはWebでの会議を継続し、ネットワークを強化することで「住み続けたいまち太子堂・三軒茶屋」の実現に取り組んだ。
---------------------	---

上 町 あんしんすこやかセンター	スマホ講座やオペラ鑑賞会、読書好きの方の集まりなど、新たな居場所づくりに取り組んだ。民生委員児童委員との交流会や町会、地域の薬局への広報活動を通じ、見守りネットワークを強化した。児童館を含む四者連携において、相互の業務理解を促進するための交流会を開催し、「福祉の相談窓口」の連携力強化を図った。
北 沢 あんしんすこやかセンター	認知症カフェや男性介護者の会を立ち上げた。多世代交流会については実施に至らなかったが、令和4年度の開催に向け、三者連携での検討を進めた。「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」の普及啓発やあんしんすこやかセンター広報紙の配布について、公共交通機関の協力を得ることができ、あらたな社会資源との連携を進めた。
上北沢 あんしんすこやかセンター	都営及び区営住宅の自治会とは、年4回広報紙配布、掲示の依頼、挨拶をすることで見守りの連携を行なった。商店、金融機関、医療機関にも今まで以上に範囲を広げ、広報紙や「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」パンフレットの配架を依頼しながら、関係づくりを行なうことができた。
上祖師谷 あんしんすこやかセンター	「誰もがあんしんして相談できる場所」として、令和2年度よりも大幅に相談件数を伸ばし、適切な対応に努めた。栄養講座、おしゃべりカフェでの保健室、孤立予防のためのデジタル講座、三者連携による介護予防普及のための神社での音楽会の開催など、コロナ禍でも多様な取り組みを展開することができた。
松 原 あんしんすこやかセンター	管内の医療機関、薬局、金融機関、理美容室、商店、大型マンションなどに直接出向き、広報紙の配架を依頼するとともに、見守りのネットワークの構築に努めた。また、三者連携に障害者相談支援センターぽーときたざわを加えた四者連携により、相談拡充の対応の充実を図った。また、松原小学校内の複合施設へ移転し、三者の一体化を進めた。

2 実績

(1) 介護予防居宅介護計画等作成延べ件数 (単位：計画数、実績数=件 達成率=%)

	計画数	実績	達成率
太子堂あんしんすこやかセンター	1,640	1,663	101.4
上 町あんしんすこやかセンター	4,940	4,732	95.8
北 沢あんしんすこやかセンター	1,670	1,527	91.4
上北沢あんしんすこやかセンター	2,070	2,119	102.4
上祖師谷あんしんすこやかセンター	2,680	2,940	109.7
松 原あんしんすこやかセンター	2,400	2,450	102.1
合 計	15,400	15,431	100.2

(2) 利用者性別・年齢別人数 (3月実利用者状況)

(単位=人)

		64歳以下	65～74歳	75～84歳	85～99歳	100歳以上	合計	平均年齢
太子堂 あんしんすこやかセンター	男	1	7	11	20	0	39	82.1
	女	0	4	42	51	0	97	85.1
	計	1	11	53	71	0	136	84.2
上町 あんしんすこやかセンター	男	5	29	35	58	0	127	81.1
	女	4	25	88	140	0	257	84.2
	計	9	54	123	198	0	384	83.2
北沢 あんしんすこやかセンター	男	0	2	16	8	0	26	83.1
	女	0	8	29	49	2	88	85.5
	計	0	10	45	57	2	114	84.9
上北沢 あんしんすこやかセンター	男	0	15	14	23	0	52	81.7
	女	2	7	49	70	0	128	84.4
	計	2	22	63	93	0	180	83.6
上祖師谷 あんしんすこやかセンター	男	3	13	20	31	0	67	81.5
	女	6	16	61	109	2	194	84.1
	計	9	29	81	140	2	261	83.4
松原 あんしんすこやかセンター	男	2	6	12	25	1	46	83.5
	女	0	13	58	81	0	152	84.2
	計	2	19	70	106	1	198	84.0
合計	男	11	72	108	165	1	357	81.8
	女	12	73	327	500	4	916	84.4
	計	23	145	435	665	5	1,273	83.7

(3) 相談延べ件数

(単位 計画数、実績数=件 達成率=%)

	計画数	実績	達成率
太子堂あんしんすこやかセンター	6,000	7,107	118.5
上町あんしんすこやかセンター	10,000	12,687	126.9
北沢あんしんすこやかセンター	5,500	6,365	115.7
上北沢あんしんすこやかセンター	6,500	7,493	115.3
上祖師谷あんしんすこやかセンター	6,500	9,991	153.7
松原あんしんすこやかセンター	8,000	10,129	126.6
合計	42,500	53,772	126.5

(4) 実態把握延べ件数 (単位 計画数、実績数=件 達成率=%)

	計画数	実績	達成率
太子堂あんしんすこやかセンター	550	1,147	208.5
上町あんしんすこやかセンター	1,540	2,318	150.5
北沢あんしんすこやかセンター	550	991	180.2
上北沢あんしんすこやかセンター	715	1,612	225.5
上祖師谷あんしんすこやかセンター	880	1,480	168.2
松原あんしんすこやかセンター	715	1,714	239.7
合計	4,950	9,262	187.1

(5) その他の実績

	太子堂	上町	北沢	上北沢	上祖師谷	松原	合計
①認定申請延べ件数 (単位=件)	354	773	267	506	460	493	2,853
②食の自立支援実施 延べ件数(単位=件)	0	0	11	0	0	0	11
③申請代行延べ件数 (単位=件)	56	143	33	53	43	88	416
④認知症サポーター養成講座 (単位 実施回数=回 受講者=人)							
実施数	0	1	1	1	1	1	5
受講者	0	10	23	8	8	13	62
⑤実習生の受け入れ (単位 実人数=人 延べ日数=日)							
社会福祉士	実人数	0	0	0	0	0	0
	延べ人数	0	0	0	0	0	0
その他	実人数	0	1	2	0	0	3
	延べ人数	0	1	1	0	0	2

※④認知症サポーター養成講座

- ・上北沢と上祖師谷は合同開催
- ・世田谷区版認知症サポーター養成講座（アクション講座）への変更準備のため、所管課の要請により実施できない期間があった。

8 居宅介護支援事業<介護保険サービス>

1 令和3年度の取り組み

(1) 介護と医療の連携推進を踏まえた在宅生活の継続支援

あんしんすこやかセンターにおける地域ケア会議や地区連携医事業に参加し、他サービス事業所や民生委員児童委員などの地域ネットワークの強化を図り、介護と医療の連携を進めた。また、退院や転院支援など在宅生活の継続にむけ、地域ネットワークを活用し、円滑な支援に努めた。

(2) 質の高いケアマネジメントの推進

毎月の職場内研修において、介護保険法改正や障害者支援、災害時における福祉職の役割など幅広いテーマを取り上げて開催し、外部研修にも積極的に出席するなどして、学びを深めた。また、介護保険法や特定事業所加算算定要件に則った体制の整備を行うために、業務確認を継続して実施した。

(3) 事業収入の確保による収支の改善と経営の安定

事業所毎に現状の課題を確認し、課題に対する対策に取り組みながら、目標達成にむけて新規利用者の獲得に努めた。

また、新たな営業ツールとして4事業所共通のパンフレットを作成し、医療機関などへ営業活動を行い、利用者紹介につながる関係づくりに取り組んだ。

(4) 新型コロナウイルス感染症などの感染予防対策の徹底

感染拡大につながらないように、利用者への訪問時や事業所内において感染予防対策に取り組んだ。

また、最新情報を含めた感染予防策について理解を深めるため、事業団独自の感染対策マニュアルにもとづいた事業団内研修を開催した。

(5) 事業所目標に対する取り組み

世田谷一丁目 介護保険サービス	あんしんすこやかセンターや医療機関、地域の事業所と連携を密にし、在宅生活の支援を行った。また、法人内の世田谷ホームヘルプや訪問看護ステーションけやきとの連携により困難ケースの対応にあたった。
北 沢 介護保険サービス	認知症の有無に関わらず、家族介護者に対しても丁寧に関わり、利用者の在宅生活が継続できるよう支援した。
芦 花 介護保険サービス	コロナ禍ではあるが ICT の活用などにより、地域の医療機関やあんしんすこやかセンター、サービス事業者と連携し、退院後も安心して地域に戻り生活を続けられるよう支援した。
太子堂 介護保険サービス	在宅生活の継続を支援するため、地区連携医事業や地区での研修などに主任ケアマネジャーが参加し、多職種連携を意識して取り組んだ。

2 実績

(1) 居宅介護支援

① 居宅介護計画作成延べ件数 (単位 計画、実績=件 達成率=%)

	計 画	実 績	達成率
世田谷一丁目介護保険サービス	2,580	2,203	85.4
北 沢介護保険サービス	3,040	2,743	90.2
芦 花介護保険サービス	2,400	2,276	94.8
太子堂介護保険サービス	1,710	1,594	93.2
合 計	9,730	8,816	90.6

② 利用者性別・年齢別人数 (3月実利用者状況) (単位=人)

		64歳 以下	65～ 74歳	75～ 84歳	85～ 99歳	100歳 以上	合計	平均 年齢
世田谷一丁目 介護保険サービス	男	2	14	21	16	1	54	81.4
	女	2	12	36	68	2	120	75.4
	計	4	26	57	84	3	174	77.2
北 沢 介護保険サービス	男	2	13	35	43	0	93	82.4
	女	3	6	37	94	0	140	86.3
	計	5	19	72	137	0	233	84.8
芦 花 介護保険サービス	男	4	8	28	35	0	75	82.3
	女	4	13	25	78	2	122	85.3
	計	8	21	53	113	2	197	84.2
太子堂 介護保険サービス	男	1	6	18	27	0	52	84.8
	女	2	2	26	53	0	83	86.7
	計	3	8	44	80	0	135	86.0
合 計	男	9	41	102	121	1	274	82.7
	女	11	33	124	293	4	465	83.4
	計	20	74	226	414	5	739	83.1

③ 要介護度別利用者数 (3月実利用者状況) (単位=人)

	要介護					合計
	1	2	3	4	5	
世田谷一丁目介護保険サービス	55	57	28	20	14	174
北 沢介護保険サービス	75	72	46	25	15	233
芦 花介護保険サービス	68	60	32	21	16	197
太子堂介護保険サービス	39	44	25	14	13	135
合 計	237	233	131	80	58	739

(2) 認定調査延べ件数

(単位 計画、実績=件 達成率=%)

	計 画	実 績	達成率
世田谷一丁目介護保険サービス	260	79	30.4
北 沢介護保険サービス	290	45	15.5
芦 花介護保険サービス	260	132	50.8
太子堂介護保険サービス	180	57	31.7
合 計	990	313	31.6

9 世田谷区福祉人材育成・研修センター事業

※世田谷区からの運営受託事業

1 令和3年度の取り組み

(1) 福祉の理解促進

「夏休み福祉体験」や「福祉の出前入門講座」、介護予防を目的とした「シニアボランティア研修」、「カメラマン内田雅子写真展（金澤翔子の世界）」、「KAiGO PRiDO in Setagaya 写真展」などを通し、福祉の理解促進に努めた。

(2) 福祉サービスの担い手の発掘・就労支援

ハローワークなどと連携し、「就職相談・面接会」や「入門講座、座談会」、「介護施設等紹介」、「訪問看護の就労支援講座」などを実施し、世田谷区内事業所への就労支援を行った。

(3) 専門性向上、サービスの質の向上を目指した福祉人材育成

研修センターでは、Web 会議システムの活用や動画視聴による研修などを実施し、コロナ禍でも効率的・効果的に研修を実施した。Web の活用により、「会場に行く必要がない」「時間を有効に使える」など高評価を得て参加者は大幅に増加した。

(4) 福祉人材の定着支援・活動支援

定着支援に向けしごとの相談や、保健医療福祉にかかわる事業所や活動団体の活動支援として研修室の貸し出し、図書の閲覧・貸し出しを行った。また、大学・事業所・行政などが、日頃の実践を発表し交流する場としてWebを活用し、「せたがや福祉区民学会 第13回大会」を開催し、49の事例発表、ワークショップにより交流が進んだ。

(5) 福祉向上の先駆的な取り組みなどの調査・研究

区内福祉事業所の調査およびシンポジウムや広報誌発行などを通して、福祉の仕事の魅力向上・発信に努めた。

2 実績（動画の受講者数は、「報告書・アンケート」提出者数）

- ・集合：研修室等に集まって実施
- ・動画：一定の視聴期間内に研修動画を視聴して実施
- ・ライブ：Web 会議システム（Zoom）を活用して実施

(1) 福祉サービスの担い手の発掘・就労支援

① 春のお彼岸シンポジウム

(単位 計画=回)

計画：1	※中止
------	-----

② 夏休み福祉体験（ライブ）

(単位 実施=回 参加=人)

計画：27回			
期間	内容	実施	参加
7/31～8/23	緊急事態宣言発令により Web 会議システムを活用し、動画視聴やクイズを通して、車いす・介護ベッド、平等と公平の違い等、福祉についての理解を深める	14	125

③ せたがやシニアボランティア研修（ライブ、集合、動画）（単位 受講＝人）

計画：5回			
実施日	内容	対象者	受講
5/31	高齢者の社会参加、地域貢献を推進し、自らの健康づくり、介護予防に役立ててもらおうとともに、要介護・要支援高齢者に対する、区民の主体的な地域支えあい活動を育成・支援することを目的に実施	世田谷区在住 65歳以上の区民（介護保険第1号被保険者）	ライブ 8
7/12			集合 19
9/28			集合 19
11/18			集合 20
12/21～1/11			動画 30
2/14～2/28			動画 19

④ 福祉の出前入門講座（集合）（単位 参加＝人）

計画：随時		
実施日	内容	参加
6/29	福祉の仕事の概要説明、車いす体験	55
1/19	会場：区内小学校	137

⑤ せたがや福祉のしごと入門講座（集合・ライブ、動画）

（単位 参加＝人 動画＝回）

計画：4回			
実施日	内容	参加	動画
5/29	福祉の仕事や資格などの概要説明、介護職員による仕事の体験談により福祉の仕事の魅力を伝え、就労に結びつける	38	—
5/31～6/7		—	15
8/28		21	—
8/31～9/8		—	16
1/29		26	—
2/1～2/7		—	17
3/3		20	—
3/7～3/14		—	10

⑥ せたがや福祉のしごと相談・面接会（集合・ライブ、動画）

ハローワーク渋谷、世田谷区産業振興公社と共催事業（単位 参加＝人 動画＝回）

計画：4回					
実施日	内容	事業所	参加	動画	
5/29	地域に密着した相談・面接会。福祉人材の掘り起こしを図り、区内の福祉サービスの担う人材の確保に努める	13	38	—	
5/31～6/7		—	—	90	
8/28		13	21	—	
8/31～9/8		—	—	133	
1/29		区内事業所参加による合同就職面接会、相談コーナー、介護の仕事のDVD上映	13	26	—
2/1～2/7		—	—	72	
3/3		12	20	—	
3/7～3/14		—	—	74	

⑦ はじめよう福祉の仕事（イベント）（集合・動画）（単位 参加＝人 動画＝回）

計画：1回			
実施日	内容	参加	動画
12/5	福祉人材の確保や、多くの方に福祉の仕事の理解を深めるため、区内特養・訪問介護 PR 動画視聴、福祉の情報提供、相談対応・求人票閲覧、開催中のカメラマン内田雅子写真展「金澤翔子の世界」を見てもらい、後日、区内特養・訪問介護 PR 動画を配信した	13	44

⑧ せたがや福祉のしごと区内介護施設等紹介（集合・ライブ・動画）

（単位 参加＝人 動画＝回）

計画：5回			
実施日	内容	参加	動画
6/9	コロナ禍のためライブで実施 【特養】深沢共愛ホームズ、博水の郷、砧ホーム 【グループホーム】グループホーム花みず木	25	54
9/8	【特養】世田谷希望丘ホーム、ラペ二子玉川 【グループホーム】ハイムガーデン世田谷 【小規模多機能型居宅介護】エイジフリーハウス南烏山	14	43
10/21	【特養】さくらほうむ、第2有隣ホーム、久我山園 【グループホーム】グループホームきらら奥沢	11	18
2/3	【特養】フレンズホーム、上北沢ホーム 【グループホーム】グループホーム世田谷宇奈根、グループホームきらら世田谷野沢	11	17
3/10	【特養】喜多見ホーム、希望丘ホーム、エリザベト成城 【グループホーム】グループホーム花みず木	9	35

⑨ 人材確保・人事管理セミナー（動画）

（単位 受講＝人 動画＝回）

計画：2回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
7/23～8/23	管理職・リーダーのための感情マネジメント	医療・福祉サービス事業所の管理者、	87	444
12/17～1/17	働きがいのある職場づくりに向けて	人事担当者など	30	107

⑩ 訪問看護の就労支援講座（ライブ）

（単位 参加＝人）

計画：3回			
実施日	内容	対象者	参加
7/10	講演「コロナ禍における在宅医療、看護の役割とは」 現役の訪問看護師との懇談会など	看護師・准看護師の資格保有者、看護学生など	32
10/23	講演「コロナ禍における訪問看護師に期待される役割」 現役の訪問看護師との懇談会など		24
1/22	現場で働く訪問看護師から学ぶ		6

⑪ 訪問看護の職場体験 (単位 体験＝人 延べ＝日)

実施日	内容・対象者	体験	延べ
随時	区内訪問看護ステーションにおける職場体験 対象者：看護師・准看護師の資格保有者で、訪問看護に関心がある方	コロナ禍で 未実施	

(2) 専門性向上やキャリアパス研修等による福祉人材育成・定着支援

① 資格取得支援

ア 入門的研修 (集合) (単位 定員・申込・受講・修了＝人)

計画：1回				
実施日	定員	申込	受講	修了
9/8・15・22・29・10/6	30	38	34	34

イ 介護職員初任者研修 (東京都指定養成研修) (集合・ライブ)

(単位 定員・申込・受講・修了・就労＝人)

計画：2回					
期間	定員	申込	受講	修了	就労※
5/20～7/12	20	38	24	24	16
9/14～11/9	20	17	14	14	11

※令和4年3月末時点で福祉事業所で就労している人数

ウ 就職相談会 (介護職員初任者研修受講者向け) (集合・ライブ)

(単位 相談＝人)

計画：20回	
随時相談	14

エ 同行援護従業者養成研修 (東京都指定養成研修) (集合)

(単位 定員・申込・受講・修了＝人)

計画：2回						
実施日	内容	定員	申込	受講	修了	
11/15・16・17	一般課程	20	28	17	17	
10/13・14	応用課程	20	17	13	13	

オ 資格取得講座 (介護福祉士受験対策講座) (集合)

(単位 受講＝人)

計画：1回			
実施日	内容	対象者	受講
10/21・22・ 26・29・11/2・ 5・9・12・20	介護福祉士国家試験筆記試験 各科目のポイント確認 国家試験模擬試験実施	介護福祉士国家試験 受験予定者	18

② 専門性向上

ア キャリアパス初任者 (ライブ)

(単位 受講＝人)

計画：2回			
実施日	内容	対象者	受講
6/16・23	世田谷区の福祉の動向、新任職員の役割	新任職員	12
11/10・17	行動、組織活動の基本など (2日間)		7

イ キャリアパス中堅職員（ライブ）（単位 受講＝人）

計画：1回			
実施日	内容	対象者	受講
7/14・21	世田谷区の福祉の動向、中堅職員の役割行動、組織活動の基本など（2日間）	中堅職員	24

ウ キャリアパスチームリーダー（ライブ）（単位 受講＝人）

計画：1回			
実施日	内容	対象者	受講
9/9・16	世田谷区の福祉の動向、チームリーダーの役割行動、組織活動の基本など（2日間）	チームリーダー	18

エ 福祉職が学ぶリーダーシップ研修（ライブ）（単位 受講＝人）

計画：3回			
実施日	内容	対象者	受講
10/6	スタッフを育てるリーダーシップⅠ ビギナーへのティーチングなど	リーダーとして部下・後輩の指導をしている方または予定の方	24
11/12	スタッフを育てるリーダーシップⅡ ベテランへのコーチングなど		26
12/10	チームワークとリーダーシップ 課題の共有とグループワークなど		23

オ 信頼関係を築くための接遇・マナー向上研修（ライブ）（単位 受講＝人）

計画：2回			
実施日	内容	対象者	受講
7/20	挨拶、言葉遣い、電話対応、訪問・来客時マナーなど	新任職員	18
11/25			19

カ 対人援助技術研修（ライブ）（単位 受講＝人）

計画：3回			
実施日	内容	対象者	受講
9/2	「多職種連携の極意」 ～コミュニケーション力UPに向けて～	医療・福祉サービス事業所の職員	24
11/18	本人・家族とのコミュニケーション第1回		45
12/16	本人・家族とのコミュニケーション第2回		38

キ 人権の理解促進・セクシャルマイノリティ研修（動画）

（単位 受講＝人 動画＝回）

計画：2回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
10/27～ 11/26	多様性を認め合い自分らしく暮らせる地域社会を目指して	医療・福祉サービス事業所の職員	148	405
11/24～ 12/23	職員による高齢者・障害者虐待と職員が受ける「ハラスメント」の防止～加害者にも被害者にもならないために～		270	1,088

ク クレーム対応研修 (動画) (単位 受講=人 動画=回)

計画：1回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
11/24～ 12/23	クレーム対応のポイント、適切なクレーム対応を身につける	医療・福祉サービス事業所の職員	59	201

ケ メンタルヘルス研修 (動画) (単位 受講=人 動画=回)

計画：1回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
6/29～7/28	グリーフの概念と、支援に役立つ基礎知識を学ぶ	医療・福祉サービス事業所の職員	168	665
2/18～3/17			46	186

コ 医療・福祉連携研修 (動画・ライブ) (単位 受講=人 動画=回)

計画：4回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
1/14	自立支援・重度化防止における臨床検査データの活用	医療・福祉サービス事業所の職員	ライブ 54	—
1/21～2/18			48	151
2/16	新型コロナウイルス感染症対策～うつらない・うつさない・重症化させない～		ライブ 30	—
2/28～3/25			43	115
2/22	在宅療養における薬の知識と薬剤師との連携		ライブ 38	—
2/28～3/25			63	167
3/1～3/31	生涯、口から食べる支援～OHAT (オーハット) の活用～		54	143

サ こころとからだの理解研修 (動画) (単位 受講=人 動画=回)

計画：3回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
3/1～3/31	こころとからだの理解研修～老化について学ぶ～①身体的変化の特徴②心理的变化の特徴～	医療・福祉サービス事業所の職員	51	360

シ 在宅医療を支える訪問看護研修 (動画) (単位 受講=人 動画=回)

計画：2回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
9/6～10/8	在宅小児療養者を支える訪問看護についての世田谷区の現状や疾患の知識等	訪問看護ステーション看護師	17	451
11/1～12/3	在宅小児療養者を支える訪問看護についてのケアの実際と当事者・家族の支援		40	251

ス 地域包括支援センター職員研修（動画・ライブ）

（単位 受講＝人 動画＝回）

計画：4回			
実施日	内容	対象者	受講
10/15	安心して働くことのできる「あんすこ」づくり	管理者	26
12/23	コロナ禍から考える「ゆるやかなつながり」と社会的孤立予防・見守り対策	社会福祉士	34
3/1～3/31	認知症高齢者と同居する家族への関わり・支援について	主任介護支援専門員	24 (動画 69)
3/7	高齢者のアルコール問題について	保健師・看護師	33

セ 介護予防ケアマネジメント研修（動画・ライブ）

（単位 受講＝人 動画＝回）

計画：2回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
7/12～7/26	新任 (全3回)	あんしんすこやかセンター職員 介護予防ケアマネジメント業務 が概ね2年未満のケアマネジャー	25	179
8/2～8/16			28	149
10/20			ライブ 27	—
9/10～9/24	現任 (全3回)		29	75
9/29			28	—
12/7			ライブ 27	—

ソ ケアマネジャー研修（基礎）（動画）

（単位 受講＝人 動画＝回）

計画：2回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
6/14～7/9	ケアマネジャーの役割理解	新任ケアマネジャー	37	145
6/28～7/23	世田谷区の組織と社会資源	ネジャー	49	155

タ ケアマネジャー研修

< 新任研修 >（ライブ）

（単位 受講＝人）

計画：2回			
実施日	内容	対象者	受講
9/17	【新任】 「世田谷区ケアマネジメント の基礎知識」	ケアマネジャー、あんしんすこやかセンター職員	23
11/19			21

<現任研修> (ライブ)

(単位 受講=人)

計画：2回			
実施日	内容	対象者	受講
11/29・ 12/22	【現任】 「世田谷区ケアマネジメントの基礎知識」を用いて演習を行い、ケアマネジャーとしての判断やその根拠を論理的に言語化できることを目指す 事例演習2日間	ケアマネジャー及びあんしんすこやかセンター職員世田谷区ケアマネジャー研修(新任) 「世田谷区ケアマネジメントの基礎知識」を受講済みの方	26
1/25・ 2/25			22

<新任・現任研修> (ライブ・動画)

(単位 受講=人)

計画：2回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
8/24	ケアマネジャーに求められるファシリテーション力 家族対応で困ったときの対処法	ケアマネジャー及びあんしんすこやかセンター職員	47	—
2/14		世田谷区ケアマネジャー研修(新任)「世田谷区ケアマネジメントの基礎知識」を受講済みの方	16	—
2/24～ 3/25		動画 68	213	

<リーダー養成研修> (動画・ライブ)

(単位 受講=人 動画=回)

計画：5回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
7/30～ 8/27	事例演習、スーパービジョン研修等により本人主体の自立支援型ケアマネジメントを推進できるリーダー層の育成を図る連続研修 「世田谷区ケアマネジメントの基礎知識」動画視聴後、前半4日は全員で事例検討 後半2日は2班で事例検討 各2日間	現任研修受講済みのケアマネジャー (新任を除く)	28	120
前半				
8/30				
9/28				
10/26				
11/15				
後半				
11/29				
12/22				
1/25				
2/25				
各2日間				

10/1～ 10/29	リーダーシップを発揮できるスーパービジョンスキルなど	主任ケアマネジャー及び世田谷区ケアマネリーダー養成研修受講者・修了者 介護支援専門員として5年以上の実務経験者	121	373
1/24～ 2/28	ケアマネジャーに求められるコンプライアンス	主任ケアマネジャー、世田谷区ケアマネリーダー養成研修受講者・修了者 介護支援専門員として5年以上の実務経験者	85	221
1/31～ 2/28	世田谷区の主任介護支援専門員の役割についてなど	主任ケアマネジャー	87	154
2/18	根拠ある実践と根拠ある指導のためになど	主任ケアマネジャー、世田谷区ケアマネリーダー養成研修受講者・修了者	30	—

チ 介護技術研修（動画・ライブ）（単位 受講＝人 動画＝回）

計画：4回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
3/9	【新任】介護の基本視点と介護技術の確認	介護サービス事業所の介護職員等、離職中の介護職員	11	—
7/28	【現任1】移乗技術の振り返り	介護サービス事業所の介護職員等	29	—
9/1～ 9/30	【現任2】フットケアの意義・基本		51	286
3/1～ 3/17	【指導者養成】指導者として身につけるべき介護技術や		—	7
3/17	指導方法を学ぶ（2日間）		7	—

ツ 食支援(栄養・調理)研修（集合、動画）（単位 受講＝人 動画＝回）

計画：6				
実施日	内容	対象者	受講	動画
7/30～ 8/30	時間短縮！利用者宅にある食材で作る調理	訪問介護員、サービス提供責任者	39	158
12/10～ 1/11			16	119

11/22 午前	嚥下状態に合わせたやさしい介護食の調理（集合）	訪問介護員、 サービス提供責任者	14	—
11/22 午後			15	—
9/28～ 10/27	高齢者の低栄養予防のための調理と工夫		47	221
1/14～ 2/14			19	74

テ サービス提供責任者研修（動画）（単位 受講＝人 動画＝回）

計画：3回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
9/15～ 10/14	【現任1】自立支援につながる訪問介護計画	サービス提供責任者	39	134
11/18～ 12/17	【現任2】サービス提供責任者に必要な医療知識と多職種連携		30	190
2/24～ 3/23	【新任】根拠法令、サービス提供責任者が担う役割、業務の流れ	新任サービス提供責任者	25	122

トー1 認知症ケア研修（動画・ライブ）（単位 受講＝人 動画＝回）

計画：10回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
4/26～ 5/27	認知症ケアの理念と視点	医療・福祉サービス事業所の職員	83	394
6/14～ 7/13	世田谷区認知症とともに生きる希望条例及び認知症に関する制度と動向		128	566
7/16～ 8/16	医学的視点からの理解と支援		151	726
7/26～ 8/25	認知症の人と家族への支援		98	492
8/23～ 9/22	認知症ケアにおける多職種連携によるチームケア		83	362
9/15～ 10/14	権利擁護について		115	441
10/15～ 11/15	若年性認知症の理解と支援		61	216
12/17	アセスメントと支援		ライブ 35	—

1/18	アセスメントの意義とポイント、事例検討	認知症ケア研修【アセスメントと支援】 修了者、認知症介護経験3年以上、勤務先から推薦を受けた人	ライブ 26	—
2/21～ 3/10	応用編 ～想いに応えるケアを 目指して～		14	47
3/18			ライブ 10	—

トー 2 認知症の緩和ケアに資する研修 (eラーニング・ライブ)

(単位 受講=人)

計画：2回			
実施日	内容	対象者	受講
前期 5/21～ 6/25 7/8・ 9/7	行動・心理症状がある高齢者 に対しての認知症ケアプログラム を活用した適切なケアについて (3日間)	福祉サービス事業所の職員、 ケアマネジャー又はあんしん すこやかセンター等の職員	34
後期 11/15～ 12/17 12/24・ 2/18			11

ナ 高齢・障害支援力向上 Sofuku 講座 (動画) (単位 受講=人 動画=回)

計画：6回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
9/15～ 10/15	車椅子の基礎	医療・福祉サービス事業所の職員	61	300
11/1～ 11/30	移乗介護とおむつの基礎		51	714
12/10～ 1/11	失語症の理解とコミュニケーション		75	253
1/12～ 2/14	作業環境の工夫		34	229
2/15～ 3/15	嚥下障害の理解とケア		48	179
3/8～ 3/31	視覚障害の理解		29	108

二 障害福祉の理解研修（動画・ライブ）（単位 受講＝人 動画＝回）

計画：4回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
12/10～ 1/11	障害福祉の制度概論 ～切れ目のない支援を目指して～	医療・福祉 サービス事 業所の職員	145	829
2/8～ 3/8	精神障害の理解と支援 ～当事者と家族を支える支援者を目指して～		129	530
3/1～ 3/31	高齢障害者への支援を学ぶ ～地域共生社会の実現を目指して～		80	195
3/28	大人の発達障害の理解と支援		ライブ 69	—

ヌ 高次脳機能障害支援力向上研修（動画・ライブ）

（単位 受講＝人 動画＝回）

計画：2回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
12/15～ 1/31	基本：高次脳機能障害の基礎的理解 と支援～明日から使える支援のコツ	医療・福祉サ ービス事業 所の職員	125	489
2/16～ 3/16	応用：高次脳機能障害のリハビリテ ーション～地域で生活するために～		83	273

ネ 障害者施設職員職層研修（動画・ライブ）（単位 受講＝人 動画＝回）

計画：3回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
9/1～ 9/20	障害者を理解するための基礎知識 と関係法令	障害者施設に 従事し、現職 務年数が概ね 3年以下の職 員	—	113
9/21	事例から考える支援のあり方と職 場での支援者支援 世田谷区の動向について		ライブ 20	—
11/8～ 11/22	障害者の現状の理解や最近の障害 者福祉施策の動向について	障害者施設に 従事し、現職 務年数が概ね 3年以上の職 員	—	168
11/22	地域生活を支える支援のあり方や 施設における中堅職員の役割 世田谷区の動向について		ライブ 21	—
2/17～ 3/8	障害者施策の動向や今後の政策の 方向性とその課題について	障害者施設の 管理者等	—	114
3/8	これからの施設と地域との関係性 世田谷区の動向について		ライブ 9	—

ノ 障害児施設職員職層研修（動画・ライブ）（単位 受講＝人 動画＝回）

計画：3回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
6/25	新任編 障害児支援における基礎的な知識・	児童発達支援 事業および放 課後等デイサ ービスに所属 する5年目未 満の職員	26	—
7/12～ 8/6	技術を学び、職員の定着及び質の向 上を図る		—	204
2/7～ 3/4	中堅編 障害児支援における支援 のあり方や知識・技術を学び、職員 の定着及び質の向上を図る	障害児通所施 設等に従事す る中堅職員	15	144
11/15～ 12/10	施設長・管理者編 施設の円滑な運営と保育の質を高 める人材育成等に必要なマネジメ ントについて学び、リーダーシップ の能力を身につける	区内の児童発 達支援事業お よび放課後等 デイサービス に所属する施 設長・管理者	7	37
11/18			ライブ 12	—

ハ 障害者施設職員支援力向上研修（動画・ライブ）

（単位 受講＝人 動画＝回）

計画：2回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
9/1～ 9/30 10/1～ 10/31 11/1～ 11/30	障害者の虐待防止、権利擁護等につ いて、障害者の心理、法制度、虐待 防止等の面から知識や事例を通し、 適切な支援を目指す	障害者施設事 業所の職員	52	211
1/7～ 1/21	個別支援計画と記録 本人のニーズに基づいた適切な個 別支援計画策定と記録について学 び、サービスの質の向上を図る		30	247
2/1			ライブ 17	

ヒ 家庭的保育事業者基礎研修

計画：1回	※中止
-------	-----

フ おでかけひろばバス見学会

計画：5回	※中止
-------	-----

へ おでかけひろばテーマ別研修（動画・ライブ）

（単位 受講＝人 動画＝回）

計画：2回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
9/14	相談援助の知識や技術の基本	おでかけひろばスタッフ	36	—
1/14	児童相談所の機能や虐待予防のための視点、産後ケアセンターの役割等について学ぶ		ライブ 3	—
1/24～ 2/7			25	153

ホ ひととき保育者バンク登録者（動画） （単位 受講＝人 動画＝回）

計画：2回				
実施日	内容	対象者	受講	動画
3/10～ 3/25	感染症に対する知識、対処法について	ひととき保育者バンク登録者	40	83

マ トピック研修（公開講座）（動画） （単位 受講＝人 動画＝回）

実施日	内容	対象者	動画
5/10～ 3/31	世田谷区の目指す福祉講座	医療・福祉サービス事業所の職員、区民など	225
6/14～ 3/31	世田谷区の目指す福祉講座（介護予防・重度化防止）		450
8/23～ 3/31	感染症対策研修		1,205

ミ スポット研修（動画・ライブ） （単位 受講＝人 動画＝回）

実施日	内容	対象者	受講	動画
10/25～ 11/26	コロナ禍における在宅医療・看護の役割とは	医療・福祉サービス事業所の職員	46	390
12/20～ 1/21	コロナ禍における訪問看護師に期待される役割		35	210
11/15～ 12/14	事例 MANGA 方式を活用した 高齢者虐待予防研修		90	159
2/17	ヤングケアラー研修		ライブ 20	—
2/25～ 3/31			49	170

④ 定着支援

相談事業

（単位 件）

こころの相談（仕事上の悩みに面談で対応）	2
メール相談（心の不調・労務管理等に専門家が対応）	2

(3) 福祉事業所や団体等の活動支援

① 研修室貸し出し (単位 団体)

登録団体	9
------	---

② 世田谷区介護サービスネットワーク（介護事業者連絡会）の活動支援

ア 活動支援 (単位 回)

加入事業数	338 ヵ所	総会	1	運営委員会	12
-------	--------	----	---	-------	----

※上記のほか、Web 研修の開催方法、研修の支援（周知等）等を行った。

③ せたがや福祉区民学会の支援（ライブ・動画）

ア 活動支援 (単位 回)

理事会	運営委員会	実行委員会	総会	大会
2	0	2	1	1

イ 大会実績 7 分科会、発表事例 49 事例（要旨・動画 33、要旨のみ 16）

(単位 ライブ=人 視聴=回)

視聴計	会長挨拶	区長挨拶	基調講演
2,977	117	65	118
事例視聴	ワークショップライブ	ワークショップ視聴	大会総括
2,452	51 人	117	108

ウ 会員 (単位 団体会員=団体 個人会員=人)

種別	会員数
団体会員（賛助会員を含む）	130
個人会員（賛助会員を含む）	51

(4) 福祉向上のための先駆的な取組み等の調査・研究および発信

① 報告書

内容	発行
新型コロナウイルス感染症 世田谷区福祉事業所調査報告書	令和 3 年 7 月
令和 3 年度 世田谷区介護人材対策推進協議会報告書	令和 4 年 3 月
令和 3 年度 福祉人材確保・育成に関する調査・研究事業報告書	令和 4 年 3 月

② 広報誌 (単位 部数=部)

内容	発行	部数
福祉のしごと ふくしごと	令和 4 年 1 月	3,000

③ 福祉のしごと魅力向上・発信シンポジウム（ライブ） (単位 受講=人)

計画：0			
実施日	内容	対象者	受講
3/23	働きやすい職場環境の整備に向けて	医療・福祉サービス事業所の職員	11

※令和 4 年度に動画配信し、公開講座を実施する。

(5) その他

① 世田谷区福祉人材育成・研修センター広報紙 (単位 部数=部)

内容	発行	部数
じんざいくん便り	4・6・8・10・12・2月	各 1,500

② 会議 (単位 実施=回)

内容	実施
福祉人材育成・研修センター運営委員会	2
福祉人材育成・研修センター検討会	2
世田谷区介護人材対策推進協議会	6(全体会 2、分科会 4)
梅ヶ丘拠点運営協議会	1

③ 世田谷区立保健医療福祉総合プラザ運営管理室共催事業 (単位 参加=人)

内容	実施	参加
手話カフェ	4・10・11・12・1月	70
KAiGO PRiDE in Setagaya 写真展	9/6～10/5	—
カメラマン内田雅子写真展「金澤翔子の世界」	12/1～12/24	—

④ その他(ライブ・動画) (単位 受講=人 動画=回)

内容	実施	受講	動画
Zoom 初めてレッスン	毎月 2 回	ライブ 108	—
世田谷区内施設長会研修会 (介護報酬改定) 公開	4/12～5/10	—	193

V 地域貢献事業一覧

(1) 地域交流促進のための場の提供や地域住民との協働 (単位 回数=回 参加=人)

実施主体	事業名	回数	参加
芦花ホーム	コミュニティカフェ芦花	1	9
上北沢ホーム	みんなのカフェ	3	22
パルメゾン上北沢	集会室貸出	0	0
	餅つき大会	0	0
デイ・ホーム世田谷	地下会議室貸出	914	—

(2) 社会福祉法人が行う利用者負担軽減

対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム事業 ・短期入所生活介護事業 (ショートステイ) ・訪問介護事業 ・通所介護事業 ・訪問看護事業
------	--

(3) 特別養護老人ホームにおける在宅の中重度要介護高齢者等への生活支援

(単位=件)

実施主体	事業名	件数
芦花ホーム	家族介護教室	1
上北沢ホーム	かみきた介護サポート事業 (よろず相談)	0

(4) 地域の福祉人材育成

① 出張介護教室

(単位=人)

実施主体	事業名	内容	参加
芦花ホーム	芦花小学校車いす体験	車いす体験	0
	芦花小中学校合同防災訓練車いす体験	車いす体験	0
上北沢ホーム	上北沢小学校サマースクール	車いす体験講座	0
	上北沢地区避難所運営訓練	車いす体験コーナー開設	0

② 専門職実習生の受け入れ (単位 実人数=人 延べ日数=日)

		社会福祉士	介護福祉士	歯科衛生士	医師・看護師 ・学生	保育士	初任者研修 介護職員	体験・実習等 その他の就業	合計
特別養護老人 ホーム事業	実人数	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ日数	0	0	0	0	0	0	0	0
母子生活支援 施設事業	実人数	3	0	0	0	5	0	0	9
	延べ日数	69	0	0	0	60	0	0	129
訪問介護事業	実人数	0	0	0	0	0	2	0	2
	延べ日数	0	0	0	0	0	2	0	2
通所介護事業	実人数	0	0	0	0	0	0	105	105
	延べ日数	0	0	0	0	0	0	550	550
訪問看護事業	実人数	0	0	0	41	0	0	0	41
	延べ日数	0	0	0	154	0	0	0	154
地域包括支援 事業	実人数	0	0	0	3	0	0	0	3
	延べ日数	0	0	0	2	0	0	0	2

(5) 施設の緊急利用への対応 (単位 世帯数=世帯 回数=回 利用日数=日)

実施主体	内容	世帯数	回数	利用日数
芦花ホーム	緊急対応		32	692
上北沢ホーム	緊急対応		34	502
パルメゾン上北沢	緊急一時保護	8	8	148

(6) 在宅療養児の家族交流会の運営支援 (訪問看護事業)

(単位 回数=回 参加=人)

事業名	内容	回数	参加
レインボーの会	新型コロナウイルス感染防止のため中止	0	0

(7) コミュニティがんサロン「ピアサポートステーションJ・J」 (単位=回)

実施主体	内容	回数
訪問看護事業	相談及び患者同士の交流会や語り合いの実施	6

(8) 区内の職能団体等の支援 (場の無償提供) (単位=回)

実施主体	事業名	回数
訪問看護事業	世田谷区訪問看護ステーション管理者会	0

(9) どこでも保健室 (単位 回数=回 参加=人)

実施主体	回数	参加
訪問看護事業	6	71

VI 参考

認知症度（認知症高齢者の日常生活自立度）

I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
II a	家庭外で、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
II b	家庭内でも、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
III a	日中を中心として、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
III b	夜間を中心として、日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。